

シミックソリューションズ、企業向け「巡回眼科検診事業」を開始

第一弾として浜松市の物流企業で実施、
眼疾患の早期発見とドライバーの安全運転を支援

シミックホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大石 圭子）のグループ会社であるシミックソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：伊藤尚昭、以下：シミックソリューションズ）は、企業の事業所等を訪問し眼科検診を提供する「巡回眼科検診事業」を開始することをお知らせします。

第一弾として、2026 年 10 月 28 日、静岡県浜松市の株式会社トレードトラスト本社において、同社のトラックドライバーを対象とした眼科検診の公開実証実験「The Vision Keep Project」を実施します。本実証実験では浜松ビジョンテクノロジー株式会社が AI 解析技術を提供し、物流現場において勤務前の短時間で受診できる眼科検診の運用モデルを検証します。

シミックソリューションズは、本事業において巡回眼科検診の営業・企画・運営を担い、企業への導入提案から検診スケジュールの設計、医療従事者・検査機器の手配、会場設営、当日の運営管理までを一貫して支援します。

■ 巡回眼科検診事業を開始する背景

高齢化や生活習慣病の増加に伴い、緑内障や糖尿病網膜症など、視機能に重大な影響を及ぼす眼疾患への対策が重要になっています。一方、日本では定期健康診断が広く普及しているものの、眼科検診を受ける機会は限られており、眼疾患の兆候を早期に把握し、適切な受診につなげる仕組みづくりが求められています。

特に運送業界では、ドライバーの視機能は安全運転にも関わる重要な要素です。今回の実証実験では、初期には自覚症状が乏しい緑内障などの眼疾患について、物流の現場で兆候を把握し、早期受診・早期対応につなげるとともに、ドライバーの健康管理と安全運行の両立に資する仕組みとして実用性を検証します。

■ これまでのノウハウと強みを活かし、「ヘルスケアを現場へ届ける」

シミックソリューションズは、新型コロナウイルス感染症の流行時に、全国の自治体において、PCR 検査や集団接種・巡回接種など、さまざまな医療関連事業の運営を担ってきました。集団接種・巡回接種では、医療従事者の確保、会場設営、予約管理、当日の運営など、医療サービスを現場へ届けるための体制構築と運営のノウハウを蓄積しています。

今回の巡回眼科検診事業では、こうした経験を活かし、企業ごとの勤務形態や現場環境に合わせた検診体制を構築します。



また、医療機関や眼科専門医、AI 解析技術を有する企業等と連携し、企業の事業所等で眼科検診を受けられる環境の構築を進めます。医学的な判定は提携医療機関が担い、シミックソリューションズは営業・事業推進および検診全体の運営を担います。

■ 第一弾「The Vision Keep Project」について

10月28日に株式会社トレードトラスト本社で行う公開実証実験では、同社所属のトラックドライバーを対象に眼科検診を実施します。

検診は業務開始前の時間帯を想定し、所要時間や動線、実施体制など、物流現場で無理なく運用できる仕組みとして成立するかを検証します。浜松ビジョンテクノロジー株式会社がAI解析技術を提供し、眼疾患の兆候把握に向けた運用面での有効性と、物流事業者へ導入する際の実務上の課題を確認します。

本実証実験は、株式会社トレードトラストと浜松ビジョンテクノロジー株式会社を実施主体とし、浜松いわた信用金庫が事業実装支援・全体調整を行い、シミックソリューションズ株式会社および東京海上日動火災保険株式会社が協力します。また、一般社団法人静岡県トラック協会のドライバー眼科健診料助成金を活用して実施されます。

■ 今後の展開

まずは運送業界を中心に、企業を訪問して実施する巡回眼科検診を順次実施していきます。行政機関や業界団体との連携、助成制度の活用などを通じて導入企業を拡大し、働く人が継続的に眼科検診を受けられる仕組みづくりを進め、将来的には運送業界に限らず、企業、自治体、健診施設等にも展開し、全国で眼科検診を受けられる機会を増やしていくことを目指します。

シミックソリューションズは今回の取り組みを契機に、これまで培ってきた運営ノウハウを活用し、眼科検診を社会に更に普及させるよう努めて参ります。

■ 株式会社トレードトラストについて

1962年創業の、浜松市を拠点に物流サービスを展開する運送企業です。安全・安心な輸送を重視し、ドライバーの健康管理や労働環境の改善、持続可能な物流体制の構築に取り組んでいます。2026年2月には新たな物流拠点を開設し、共同配送「シェアロジ」の高度化などを通じて、地域物流インフラの向上を進めています。

■ 浜松ビジョンテクノロジー株式会社について

2025年6月設立の静岡大学・東京大学発のスタートアップであり、AI・センシング技術・モバイル医療デバイスを活用した眼科領域の技術開発に取り組んでいます。眼疾患による視機能低下の予防や、眼の健康を支える新たな仕組みづくりを目指して事業展開を進めています。代表の朝岡亮氏は、眼科専門医・医学博士（聖隷浜松病院アイセンター 眼科部長）として、医療と技術の両面から本分野に取り組んでいます。



■シミックグループについて

シミック（CMIC）は、1992年に日本で初めて CRO（医薬品開発支援）事業を開始し、今では開発から製造、営業・マーケティングまでの医薬品に関する総合的な支援業務を提供しています。製薬・バイオテクノロジー・医療機器等の海外企業の日本市場参入や、アジアでの臨床試験実施、米国と日本における医薬品開発および製造のサポートなども展開しています。また、シミックは個人や自治体を支援する新しいヘルスケアソリューションを提供しており、製薬企業のバリューチェーンを全面的に支援する豊富な経験と実績を基盤として、“個々人の健康価値を最大化”する事業モデル PHVC（"Personal Health Value Creator"）の展開を目指しています。シミックグループは、世界中に 7,000 人を超える従業員とグループ会社 26 社を擁しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。 <https://www.cmicgroup.com>

【報道関係からのお問い合わせ先】

シミックホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーションズ
E-mail: pr@cmic.co.jp